

2016 年度（対象年度：2015） 自己点検・評価シート 【大学全体の視点】

基準 6 学生支援

I. 自己点検・評価

1. 点検・評価項目等に基づく状況確認 《評価形式》

自己評価欄に「A：適切に実行している」「B：概ね実行している」「C：あまり実行していない」「D：実行していない」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目	点検項目	自己評価	
			個別	総合
602	【大学全体の視点】 学生への修学支援は適切に行われていますか。	【大学全体の視点】 ①留年者および休・退学者の状況の把握し、適切に対処していますか。【※どのように】 ○留年者および休・退学者の状況把握と対処（防止含む）	B	B
		【大学全体の視点】 ②補習教育に関する支援体制を構築し、補習教育を実施していますか。【※どのように】 ○チューター配置やリメディアル科目等の実施状況など	A	
		【大学全体の視点】 ③障がいのある学生に対する修学支援措置を実施していますか。【※どのように】 ○ノートテイク、科目担当者への協力要請など	A	

2. 現状説明 《記述形式》

対象年度における取り組みを、点検・評価項目の観点から、改善状況を含め総括してわかりやすく説明してください。
点検項目欄【※どのように】と記載のある項目は、取り組み内容を具体的に、記述してください。

601①退学の防止については、退学理由の把握方法の共通化に向けて検討し、その上で退学希望者との面談時や「退学願」書類において必要な事項が確認できるよう全学統一の確認項目を作成することや、退学防止に向けた対策を検討するため必要と考えられるデータ項目を洗い出し、各関係機関と情報提供にかかる調整を進めることが、2015 年度第 8 回教務会議（2015 年 11 月 20 日開催）にて承認された。

602②補習教育に関しては、各学部が必要に応じて単位僅少者に対する面談の実施、オフィスアワー、リメディアル教育等の実施、e-learning を活用している。各学部教務課では履修に関する相談に随時対応するとともに、シラバスにおいて「授業時間外における予・復習の指示」や「系統的履修」、「履修上の注意・担当者からの一言」欄を設け、支援の一環としている。また、専願制の入学試験合格者については、入学準備サポートプログラムを全学版と学部別（経営学部・農学部を除く）に実施している。

602③障がい学生に対する修学支援について、前期に障害のある学生の把握を行い、障がい学生支援室より部局長会に報告が行われた。支援を希望する学生に対しては、各学部教務課、障がい学生支援室、教育学部で連携をほかり、ノートテイクや身体介助者の配置、科目担当者への配慮依頼を行った。また、2015 年度第 46 回部局長会（2016 年 2 月 25 日開催）において、「龍谷大学が行う障がいのある学生への支援の基本的な考え方と具体的な支援内容」が承認された。

〔改善すべき点の確認〕 前回の点検・評価で、自ら「改善すべき点」と掲げた事項や、評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項があれば、この欄に箇条書きで記載してください。
（自ら「改善すべき点」と掲げた事項） 退学者について、現在、各学部において退学理由の把握に取り組んでいるが、今後、より退学抑制に資するよう、さらに精緻な退学理由の把握方法や、全学共通の対処方法について検討する。
（評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項） 改善計画書にも記載されている退学防止に向けた対策を検討するために退学理由を全学的に共通の観点とすることも必要な作業であると認識する。分析後の対応策についても早急に検討いただきたい。【努力課題】

3. 効果が上がっている点とその伸長方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、効果が上がっている事項（特色ある取り組みや成果創出など）とその伸長方策を記述してください。
入学準備サポートプログラム（全学版）（2015年12月25、26日実施）では、任意であるにもかかわらず80%を超える参加者があった。

4. 改善すべき点とその改善方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、改善すべき事項とその改善方策を記述してください。
退学者予防に取り組むため、さらに精緻な退学理由の把握方法や、全学共通の対処方法について検討する。

5. 根拠資料 《リスト形式》

項目 No.	根拠資料の名称
602	龍谷大学・龍谷大学短期大学部「入学準備 SP」の実施について
602	2016年度推薦入試合格者対象 龍谷大学 入学準備 SP（各学部）実施概要
602	障がいのある学生への支援の基本的な考え方と具体的な支援内容

II. 評価結果

総評 退学理由の把握方法の共通化に向けて、全学統一の確認項目の作成や、データ項目の洗い出し等を進めることが承認されたことは評価できるが、定員管理の厳格化とも関連して、退学の防止策の検討が急がれるので、把握の段階から検証の段階へ、さらには防止策の検討に入っていただきたい。この点は補習教育の充実ともあわせて検討していただきたい。 障がい学生に対する修学支援については、「龍谷大学が行う障がいのある学生への支援の基本的な考え方と具体的な支援内容」が承認され、全学的な方針が示されたことは評価できる。今後は事例収集につとめ、実施の検証を行っていただきたい。
伸長すべき点（長所） 《箇条書き》 障がい学生に対する修学支援については、「龍谷大学が行う障がいのある学生への支援の基本的な考え方と具体的な支援内容」が承認され、全学的な方針が示されたことは評価できる。今後は事例収集につとめ、実施の検証を行っていただきたい。
改善すべき点 《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載 定員管理の厳格化とも関連して、退学の防止策の検討が急がれるので、把握の段階から検証の段階へ、さらには防止策の検討に入っていただきたい。【努力課題】
※【改善勧告】【努力課題】は、改善計画書の提出が必要